

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	建築デザイン I	
科目基礎情報							
科目番号	0064			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建設システム工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	『図解 ニッポン住宅建築』（学芸出版社）尾上亮介，竹内正明，小池志保子						
担当教員	尾上 亮介						
到達目標							
①. 住宅のコンセプトを企画することができる。 ②. 住宅の設計ができる。 ③. 住宅の図面が描ける。 ④. 住宅の模型が作れる。 ⑤. 提案内容を発表できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	正確に住宅のコンセプトを企画することができる			適切に住宅のコンセプトを企画することができる		適切に住宅のコンセプトを企画することができない	
評価項目2	正確に住宅の設計ができる			適切に住宅の設計ができる		適切に住宅の設計ができない	
評価項目3	正確に住宅の図面が描ける			適切に住宅の図面が描ける		適切に住宅の図面が描けない	
評価項目4	正確に住宅の模型を作ることができる			適切に住宅の模型を作ることができる		適切に住宅の模型を作ることができない	
評価項目5	正確に提案内容を発表できる			適切に提案内容を発表できる		適切に提案内容を発表できない	
学科の到達目標項目との関係							
(D) (H)							
教育方法等							
概要	住宅の設計案の制作を通して，設計条件の分析，住宅の機能，寸法，空間構成，構法，製図法，プレゼンテーションなどについて学ぶ。 1.Skills for design of housing space 2.Skills for presentation and drafting						
授業の進め方・方法	演習形式で毎週進行状況と内容を確認しながら進める。						
注意点	評価方法・評価基準 提出作品+プレゼンテーションで総合評価を行う。 コンセプト企画力，設計，製図，模型製作，提案書作成についての到達度を評価基準とする 学生へのメッセージ 住宅や学校など身近な建築空間の大きさや，使いやすさなどを日々観察するように 教員の連絡先 研究室 A-306 内線電話 8963 e-mail onoe@maizuru-ct.ac.jp						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	シラバス内容の説明，住宅の設計課題1出題と解説，設計条件の整理			①. 住宅のコンセプトを企画することができる	
		2週	設計案の立案とチェック，コンセプトの抽出，エスキース			①. 住宅のコンセプトを企画することができる	
		3週	設計案の立案とチェック，設計1			②. 住宅の設計ができる	
		4週	設計案の立案とチェック，設計2			②. 住宅の設計ができる	
		5週	製図			③. 住宅の図面が描ける	
		6週	製図・模型製作			③. 住宅の図面が描ける	
		7週	模型製作			④. 住宅の模型が作れる	
	8週	プレゼンテーション			⑤. 提案内容を発表できる		
	4thQ	9週	住宅の設計課題2出題と解説，設計条件の整理			①. 住宅のコンセプトを企画することができる	
		10週	設計案の立案とチェック，コンセプトの抽出，エスキース			②. 住宅の設計ができる	
		11週	設計案の立案とチェック，設計1			②. 住宅の設計ができる	
		12週	設計案の立案とチェック，設計2			②. 住宅の設計ができる	
		13週	製図			③. 住宅の図面が描ける	
		14週	製図・模型製作			③. 住宅の図面が描ける ④. 住宅の模型が作れる	
		15週	プレゼンテーション			⑤. 提案内容を発表できる	
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。		3	後5,後6,後12,後13,後14
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。		3	後7,後14
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。		3	後1,後2,後9,後10

				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのスキスができる。	3	後1,後2,後9,後10
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	3	後3,後4,後11,後12,後13,後14
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	3	後7,後14
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	3	後8,後15
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる	3	後1,後2
				講評会等において、設計趣旨などをまとめ、プレゼンテーションができる。	3	後8,後15
			美術・デザイン	デザインプレゼンテーションができる。	3	後8,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0